

総額 825.5万円の 20団体 助成決定

本事業は、NPO等市民活動団体の支援を通して、広く県民勤労者をはじめとする県民福祉の向上を図ることを目的に2003年度から実施しています。

本年度も、NPOや市民活動団体から43団体の申込がありました。助成先の選考にあたっては、4月18日(土)に書類選考会を行い、5月23日(土)に面接選考を必要とした4団体から助成事業のプレゼンテーションによる面接選考会を行いました。選考の結果、20団体に対し総額825.5万円の助成を行うことを決定しました。



▲NPO法人街なか映画館再生委員会は、妙高市「さん来夢あらい」の空きスペースにてワークショップで壁制作を行い、懐かしの映画や市内の風景写真の上映を行い、街の元気づくりと高齢者の健康維持に貢献する取組を行った。

これまでの助成団体の活動



▲農福連携が高まりを見せる昨今、NPO法人大杉の里では、刈取り機械と稲架を購入し、障がい者の稲作による棚田保全に取り組み、工賃向上と伝統農法の確立を目指した。



▲これまで、4月末の成果報告会、5月末の面接選考会とともに、公開で開催してきましたが、2020年度は、新型コロナウイルスの感染予防により、成果報告会は書面開催、面接選考会は、人数制限を設け非公開で開催しました。

■実績累計

	応募団体	助成団体	助成金額(万円)
2016年度までの累計	900	268	12,774.1
2017年度	53	18	902.3
2018年度	69	24	937.5
2019年度	52	16	795.0
2020年度	43	20	825.5
総累計	1,117	346	16,234.4

■選考委員

(順不同・敬称略)

氏名	所属
牧野 茂夫(選考委員長)	(一社)新潟県労働者福祉協議会
丸山 仁(副選考委員長)	社会福祉法人けやき福祉会
阿部 義暁	新潟日報社報道部
石本 貴之	認定NPO法人新潟NPO協会
蒲木 みゆき	新発田市役所
加瀬 由紀子	環境カウンセラー協会
小池 由佳	新潟県立大学
近藤 尚仁	認定NPO法人くびき野NPOサポートセンター

■応募団体の主な活動分野(応募総数43団体)

活動分野テーマ分類	件数
保健・医療又は福祉の増進を図る活動	22
子どもの健全育成を図る活動	8
まちづくりの推進を図る活動	5
学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動	5
その他(科学1、環境1、男女共同1)	3
合計	43

(一財)新潟ろうきん福祉財団は、新潟県労働金庫が創立30周年を記念して、1983年に設立した一般財団法人です。当財団は、広く県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的としてNPO等助成事業のほかにも、自立した持続可能な地域社会創造事業、高校生奨学金給付事業、大学生奨学金給付・貸与事業、ワーク&ライフフォーラム・セミナー開催事業、文化講演会等開催事業、ライフプランセミナー開催事業、調査研究事業を実施しています。

助成団体一覧

団体名	所在地	助成額 (万円)	助成金使 途
特定非営利活動法人 マミーズ・ネット	上越市	100	「虐待によらないしつけ」ワークショッププログラム構築 家庭での子育ての実態把握のためのワークショップ開催・ワークショップでの声を基にした冊子制作とその活用・地域に向けた虐待防止の呼びかけ。
一般社団法人 子育て交流ぼーとtete	新潟市 中央区	94.1	「妊娠・出産・子育て期に交流し育ち合うベビーグループ事業」 主に妊娠期から児の入園まで、親の悩みに合わせた交流会や育児相談、子育て講座、仲間づくりを行う。外出困難な事情に対応できるようにオンラインでも対面できるような仕組みを取り入れ、産前産後の母親に対しては、保健師や助産師、保育士らを配置し、児の身体計測、健康相談、育児相談、精神的ケアを行う。
特定非営利活動法人 いきいき健康家族オアシス	新潟市 江南区	86	「児童自立生活援助・学習支援所フリースペース開設及びクローズ型子ども食堂事業」 登録制フリースペース(通称「すまいる」)の開設、フリースペース「すまいる」におけるクローズ型子ども食堂、フリースペース「すまいる」主催親睦会
特定非営利活動法人 十いろ	十日町市	80	「成年後見・終活サポート事業」 身寄りがいなくても最期まで住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、社会福祉士がその専門性を活かし相談支援できるようにオンラインでも対面できるような仕組みを取り入れ、地元の様々な士業・事業者と連携・協働し、包括的・継続的支援の仕組みづくりを行う。
特定非営利活動法人 アビリティ燕	燕市	50	「喫茶つばめや製菓部門の開設」 喫茶つばめやの2階の1室に将来を考え、製菓用の部屋を空けておりました。昨年よりガスや水道を引き、冷蔵庫、ガスオーブンなども少しずつ準備しておりましたが、まだまだお菓子を製造するための器具や機械が必要となってきます。製菓の安全面を考える上で必要な真空包装機、脱臭シーラー、作業効率を上げるためのキッチンエイドやマルチフードプロセッサなども必要となってきます。
特定非営利活動法人 学びスペースあうるの森	長岡市	44.6	「不登校生徒による本の出版」 不登校児童生徒たちが企画編集をした本を出版する。自分たちの体験、気持ちなどを子どもたちがお互いインタビューをする。また保護者にもインタビューを行い、自分の子どもが不登校になった時の気持ちなどを話してもらい、それらをまとめ、対話形式の本を出版する。
特定非営利活動法人 フードバンクにいがた	新潟市 中央区	40	「フードバンクにいがた新潟センター活動拠点移転整備事業」 食品ロス軽減と貧困対策の社会的要請から県域にフードドライブ活動が拡充し、それに伴い新潟センターの食品取扱量が年間20トンを超え、既存の拠点では質・量ともに限界を迎えた。そこで令和2年度に拠点を移転・整備し、今後の更なる活動拡充を図る。
特定非営利活動法人 こども凸凹くらぶ	三条市	33.9	「社会的困難を抱える子どもを地域全体で育む環境づくり事業」 発達障害やHSCなどにかかわる学習会や講演会、映画上映会などの実施を通して、発達障害やHSCなどの理解啓発を図り合理的配慮を促進することで、社会的適応に困難さを抱える子ども・若者を、地域・社会全体で育む基盤を強化する。
新潟市精神障害者自助 グループココカラ	新潟市 中央区	30.4	「ココカラはじめる!新潟市のピアサポート活動」 新潟市における精神障害者の孤立を防ぐ。ピアサポート活動の周知及び実践。シンポジウムの開催。
NPO法人 高志の福祉村 ～明るく豊かに暮らす ネットワーク～	糸魚川市	30	「ジオパーク神道山公園の整備事業【森林編】自伐型林業の勉強会 チェーンソーカービング講習会」 新しい林業の取組「自伐型林業」の普及を地域へも啓蒙して行う為の事業を行います。勉強会は座学とフィールドを利用して現地での講習会を行います。また、森を楽しむという意味からもチェーンソーカービングの講師をお呼びし、チェーンソー講習会も含め、広く市民のみなさんに参加していただくような勉強会を開催したいと考えます。
特定非営利活動法人 地域たすけあいネットワーク	三条市	30	「コミュニティカフェらっと事業」 コミュニティカフェ事業を通して地域で喜ばれる居場所づくりに取り組んでいます。エアコンを設置し環境を整えることで、より多くの人が利用しやすくなることを目的とします。
特定非営利活動法人 自立生活センター新発田	新発田市	30	「工賃向上のためのミシン・織り機整備事業」 最新ミシン3台を購入整備し作業効率を向上させ、製品製造数を増やすことで利用者さんの工賃を増やすことを目的とします。また、子供用織り機とその道具一式を購入整備することにより、身体の小さなお子さんたちも「さをり織り」の体験ができるようになり、広く「さをり織り」を普及させることを目的とします。
NPO法人 ワーカーズコープ北陸信越支部 若者応援おせっかい サポーター	新潟市 中央区	29.8	「若者の自立や就労を応援する「若者応援おせっかいサポーター」」 通信制高校のスクーリングの日にCafé4610(よろっと)と名付けた高校生が将来のことや仕事や就職についての相談ができる居場所をサポートする取り組みにより、高校の中途退学の予防、働くことへの不安の解消、若者が抱える諸問題の改善を市民ボランティアにより行う。居場所に人材不足や担い手不足の企業等を招き、インフォーマルなマッチングの機会をつくる。
特定非営利活動法人 ほほえみ	十日町市	29	「高齢者の自殺率減少を目指す事業」 ほほえみ会員による地区高齢者宅への訪問、傾聴を行い、日々の生活に不安要素(健康・経済・精神など)をお聞きし、行政・社会福祉協議会等に繋いで行く。行政の委託事業を併合した事業の展開を図って行く。
特定非営利活動法人 大杉の里	上越市	22.7	「自動式食パンスライサー購入事業」 地域とつながりをもち利用者賃金の向上を目的とする。
特定非営利活動法人 ピュアはーと	長岡市	23	「放課後等デイサービスピュアはーと」 特別支援学校や特別支援学級等に通う障害児の放課後及び夏休み等の長期休暇中の日中における活動の場を確保し、日常生活における基本動作を習得し、及び集団生活に適應できるよう、障害児それぞれの状況に応じて指導や訓練等を行う。
Sunny Smile	新潟市 西区	22	「不登校支援イベントR2.8月『#不登校は不幸じゃない(仮題) R3.1月『わたしらしく、あなたらしく～不登校のその先へ～』(仮題)』 主に新潟市内の不登校児童や子育てに悩む保護者のために情報提供を行います。不登校児童向けのワークショップを行い、子どもたちに癒しと学びの場を提供します。
新潟医療通訳センター	新潟市 中央区	20.2	「医療通訳者の研修教材の開発事業」 地域の国際化が進む中、医療機関に日本語が得意でない外国人患者が増えている。新潟県のような地方都市においても医療機関へ医療通訳者を派遣する機会が増えている。本事業では医療通訳者を育成するための研修教材の開発することを目的とする。
りてらこや新潟	新潟市 中央区	17	「若者支援者のための『やさしい日本語』普及事業」 日本語が母語でない外国につながる若者の社会参加を促進するため「やさしい日本語」の普及を目指す。具体的には、協力を得られた翠江高校で、教師・生徒・保護者向けに「やさしい日本語」を使った指導法や連絡方法を指導し、その効果を調査する。その成果を、若者支援に関わる人向けに、「やさしい日本語」ハンドブックとしてまとめる。
NPO 五十公野山もりづくり ボランティアの会	新発田市	12.8	「五十公野山もりづくり」 新発田市民に身近な里山、五十公野山を身心の健康を育むいこいの森として、お年寄りや子供たちが安全により安心に山歩きが出来る様、遊歩道や山道周辺の草刈りなどの環境整備を行政と一体となって取り組み、市民の掛けがえの無い財産として、次世代を担う子供たちに継承する。
合 計 (20団体)		825.5	